

検討資料5) 保護者等へのアンケート結果 概要

回答結果

調査対象	対象者数	回答人数	回答率
市立小中学生の保護者	9,710	6,025	62.0%
就学前乳幼児の保護者、妊娠中のご家庭	5,678	2,772	48.8%
県費教職員	813	765	94.1%

※就学前乳幼児の保護者、妊娠中のご家庭：以下、「未就学児等保護者」

※調査期間：令和6年11月7日～令和6年11月25日

※公表資料：アンケート結果報告書（全体）

<https://www.city.imabari.ehime.jp/kyouikut/tekisei/chousa/>

最適な教育環境の提供にあたり、考慮すべきこと（上位2つ）

回答区分	小中保護者	未就学児等保護者	教職員
1	安全安心な学校生活 82%	安全安心な学校生活 87%	安全安心な学校生活 70%
2	学力の保障 39%	適切な範囲での通学距離（時間） 35%	望ましい児童生徒数・学級数 56%

- ・全回答区分で「安全安心な学校生活」が最も多い。
- ・2番目に多い考慮すべき事項は、各回答区分で異なる。

地域住民として学校に求める機能（教職員への問い） 地域住民から学校に求められる機能（上位2つ）

回答区分	小中保護者	未就学児等保護者	教職員
1	児童生徒が健全に成長できる環境 93%	児童生徒が健全に成長できる環境 94%	児童生徒が健全に成長できる環境 96%
2	地域の防災拠点として安全安心な施設 37%	地域の防災拠点として安全安心な施設 39%	地域の防災拠点として安全安心な施設 36%

- ・全回答区分で「児童生徒が健全に成長できる施設」が最も多い。
- ・全回答区分で「地域の防災拠点として安全安心な施設であること」が2番目に多い。

小学校の1学年あたりの望ましい学級数（上位2つ）

回答区分	小中保護者	未就学児等保護者	教職員
1	学級数を問わない 37%	学級数を問わない 43%	3学級以上 35%
2	3学級以上 33%	2学級 30%	2学級 32%

小学校の1学年あたりの望ましい学級数の回答理由（上位2つ）

回答区分	小中保護者	未就学児等保護者	教職員
1	クラス替えがあり、たくさんの友達ができる 50%	様々な個性を持つ友達と触れ合える 50%	クラス替えがあり、たくさんの友達ができる 55%
2	様々な個性を持つ友達と触れ合える 48%	クラス替えがあり、たくさんの友達ができる 46%	様々な個性を持つ友達と触れ合える 54%



小中学生の保護者（地域別）の回答（上位2つ）

回答区分	旧今治市	旧町村陸地部	旧町村島しょ部
1	3学級以上 40%	2学級 39%	学級数を問わない 47%
2	学級数を問わない 36%	学級数を問わない 38%	2学級 32%

小中学生の保護者（地域別）の回答理由（上位2つ）

回答区分	旧今治市	旧町村陸地部	旧町村島しょ部
1	クラス替えがあり、たくさんの友達ができる 53%	児童一人一人に目が届き、きめ細かな指導が行われる 48%	児童一人一人に目が届き、きめ細かな指導が行われる 49%
2	様々な個性を持つ友達と触れ合える 49%	様々な個性を持つ友達と触れ合える 45%	様々な個性を持つ友達と触れ合える 39%

小学校の1学級あたりの望ましい児童数（上位2つ）

回答区分	小中保護者	教職員
1	20人程度 61%	20人程度 82%
2	30人程度 36%	30人程度 14%

※小中学生の保護者（地域別）では差異がない

- ・小学校の1学年あたりの望ましい学級数については、小中保護者及び未就学児等保護者は「学級数を問わない」が最も多い。また、教職員は「3学級以上」が最も多い。
- ・小学校の1学級あたりの望ましい児童数は、全回答区分で「20人程度」が最も多い。

中学校の1学年あたりの望ましい学級数（上位2つ）

回答区分	小中保護者	未就学児等保護者	教職員
1	3学級以上 51%	3学級以上 44%	3学級以上 56%
2	学級数は問わない 33%	学級数は問わない 40%	学級数は問わない 28%

中学校の1学年あたりの望ましい学級数の回答理由（上位2つ）

回答区分	小中保護者	未就学児等保護者	教職員
1	クラス替えあり、たくさんの友達ができる 53%	様々な個性を持つ友達と触れ合える 52%	クラス替えがあり、たくさんの友達ができる 59%
2	様々な個性を持つ友達と触れ合える 52%	クラス替えがあり、たくさんの友達ができる 49%	様々な個性を持つ友達と触れ合える 55%



小中学生の保護者（地域別）の回答（上位2つ）

回答区分	旧今治市	旧町村陸地部	旧町村島しょ部
1	3学級以上 59%	3学級以上 33%	学級数を問わない 39%
2	学級数を問わない 33%	2学級 32%	2学級 38%

小中学生の保護者（地域別）の回答理由（上位2つ）

回答区分	旧今治市	旧町村陸地部	旧町村島しょ部
1	クラス替えあり、たくさんの友達ができる 55%	クラス替えあり、たくさんの友達ができる 52%	生徒一人一人に目が届き、きめ細かな指導が行われる 42%
2	様々な個性を持つ友達と触れ合える 53%	様々な個性を持つ友達と触れ合える 48%	様々な個性を持つ友達と触れ合える 41%

中学校の1学級あたりの望ましい生徒数（上位2つ）

回答区分	小中保護者	教職員
1	30人程度 62%	30人程度 49%
2	20人程度 33%	20人程度 49%



小中学生の保護者（地域別）（上位2つ）

回答区分	旧今治市	旧町村陸地部	旧町村島しょ部
1	30人程度 67%	30人程度 54%	20人程度 59%
2	20人程度 29%	20人程度 42%	30人程度 35%

- ・中学校の1学年あたりの望ましい学級数は、全回答区分で「3学級以上」が最も多い。
- ・中学校の1学級あたりの望ましい生徒数は、全回答区分で「30人程度」が最も多い。

小学生の通学時間として許容できる範囲（上位2つ）

回答区分	小中保護者	未就学児等保護者	教職員
1	15分～30分未満 67%	15分～30分未満 60%	15分～30分未満 72%
2	15分未満 23%	15分未満 29%	30分～45分未満 17%

※小中学生の保護者（地域別）での差異はなかった

中学生の通学時間として許容できる範囲（上位2つ）

回答区分	小中保護者	未就学児等保護者	教職員
1	15分～30分未満 68%	15分～30分未満 65%	15分～30分未満 56%
2	30分～45分未満 19%	30分～45分未満 24%	30分～45分未満 34%

※小中学生の保護者（地域別）での差異はなかった

- ・小学生の通学時間は 全回答区分で「15分～30分未満」が最も多い。
- ・中学生の通学時間は、全回答区分で「15分～30分未満」が最も多い。また、「30～45分未満」への許容度が小学生に比べて高い。

通学時間の実態（時間）（上位3つ）

回答区分	旧今治市	旧町村陸地部	旧町村島しょ部
1	15分～30分未満 44%	15分未満 39%	15分～30分未満 41%
2	15分未満 42%	15分～30分未満 38%	15分未満 41%
3	30分～45分未満 12%	30分～45分未満 19%	30分～45分未満 15%

通学時間の実態（距離への所感）（上位3つ）

回答区分	旧今治市	旧町村陸地部	旧町村島しょ部
1	適当である 40%	適当である 39%	適当である 46%
2	近い 22%	やや遠い 23%	やや遠い 22%
3	やや遠い 21%	近い 21%	近い 16%